

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。

■ 地域経済の活性化に貢献

イオンモールはさまざまなかたちで地域経済の活性化に貢献します。SCを新規出店する際には建設業者を通して多くの仕事が地元企業に発注されるほか、テナントを募集する際には3分の1が地域の専門店になるよう配慮。地産地消に取り組む専門店も積極的に誘致します。さらにSCのオープンには地域に数千人単位の安定した雇用を創出し、税収や人口の増加を伴って長期的に地域とともに成長していきます。

■ 社会貢献の拠点として

社会貢献活動の一環として各SCが行う募金活動も、お客さまのご協力によってたいへん大きな成果を挙げています。また、2010年度は国内全SCでのべ78,062名のお客さまに献血へのご協力をいただきました。

2010年度 募金活動結果(当社SCでお客さまからお預りした額)

チリ共和国 地震災害 復興支援	中国青海省 地震災害 復興支援	ベトナム学校 建設支援	24時間テレビ 「愛は地球を救う」	イオン・ユニセフ セーフウォーター キャンペーン	だっごサンタ クリスマスチャリティ (日本ユニセフ協会)
2,724,035円	1,345,310円	5,544,763円	19,751,784円	2,157,634円	15,960,604円
2010年度／合計 47,484,130円					

■ 地域の美しい環境を未来へ

当社は地域のお客さまとともに取り組む環境保全・社会貢献活動として、新規出店SCのオープンに先立って「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しています。また1991年から行っている「グリーン&グリーン」活動として、毎月11日に専門店の従業員も参加して、開店前にSC周辺の清掃活動などを行っています。



■ 公共サービスの提供

イオンモールはショッピングやお食事を楽しんでいただくだけでなく、銀行、郵便局、医療機関、自治体の行政サービスコーナーなど、地域住民の方が必要とする公共性の高いサービスもご提供し、楽しさと利便性を兼ね備えた多機能複合型のワンストップソリューションとして機能します。



■ イオンホール

SC内に設けられた「イオンホール」は、各種団体やサークルなどの文化的活動・発表の場として、展示会、発表会、コンサートなど、目的に応じたスペースでご利用いただけます。SCによっては成人式や確定申告の会場、運転免許更新の講習会など、幅広い用途に活用されています。



SC内にデイサービスセンターをオープン

2010年にイオンモール下田にデイサービスセンター「れいろう倶楽部」を開き、1日に20数名の方にご利用をいただいております。もともとSCはバリアフリー化されていますが、トイレや駐車場をさらに使いやすくしていただくなど、SC側から全面的なサポートをいただきました。皆さん食料品や洋服を買うのをとても楽しみにされていて、それまでの歩行訓練で成果の出なかった方がここで元気に歩けるようになった例もあります。生き生きとした表情を見ていると、欲しいものを自分で買うというのは人にとって大切なことなんだと実感しますね。



社会福祉法人 七戸福祉会 事業本部長 戸籠 (とだて) 靖 様



■ 国内外での地域貢献事例

イオンモールでは、イオン1%クラブならびにイオン環境財団の取り組みも含めて、地域の祭事などの伝統行事やさまざまな市民の文化活動へのサポートを行い、あわせて海外での地域貢献も積極的に進めています。

● 中国(北京)

イオン環境財団は2010年4月に中国・北京市で「万里の長城植樹」活動を実施。日本からのボランティア1,400名と中国側700名の計約2,100名が参加して約2万本を植樹し、万里の長城植樹での累計植樹本数が100万本に達しました。



● 青森県つがる市

8月のつがる市「馬市まつり/新田火まつり」では、イオンモールつがるの柏の駐車場が特設会場となり約7000名の方が来場しました。「馬ねぶたパレード」には専門店を含むSCのスタッフも参加し、市民との交流を深めました。



● 中国(天津)

イオンモール天津TEDAのオープンに先立って、2010年9月に「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しました。地域の学生約800名を含む約1,000名の皆さまにご参加いただき、敷地内に約1万本の苗木を植樹しました。



● 東京都三宅村

2000年の噴火で全島避難となった三宅島では、溶岩流だけでなく火山ガスも噴出して雄山を裸地化しました。イオン環境財団では、植樹ができるまで回復した地区に2009年から3年計画でヤブツバキ、ヒサガキ、イボタなどを植樹しています。



● ラオス

イオンは(財)日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと、特に農村部での教育環境が深刻なラオスで2006年より3ヵ年計画で100校を目標に学校建設支援を行いました。2009年末には120校を達成し、2010年3月に開校式を実施しました。



● 福岡県直方市

人力車の発明で知られる和泉要助は直方出身。イオンモール直方では、イオン1%クラブの協賛金を活用し、地元部品メーカーの協力で人力車「ヨウスケ号」を製作。成人の日には館内で新成人との記念撮影を行いました。



● ベトナム

ベトナムで初めてユネスコ世界遺産に登録された建造物群をもつフエ省。森の伐採が原因で汚濁が進む入江に美しい水辺を取り戻すことを目的として、2010年から6年計画で植樹活動を実施します。



● 長崎県南島原市

南島原市南有馬町上春地区には西日本最大級の無線送信所がありましたが、その跡地が荒廃し、水源涵養機能が低下していました。2010年より、イオン環境財団は南島原市とともに20.5ヘクタールの跡地に5年計画で植樹活動を行っています。

